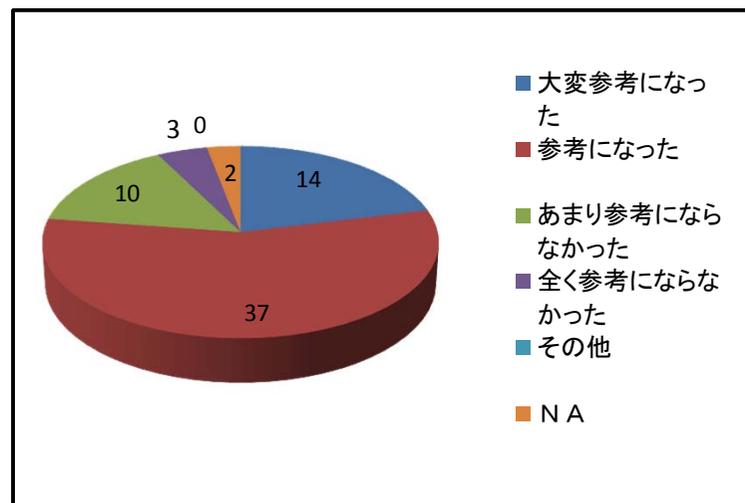
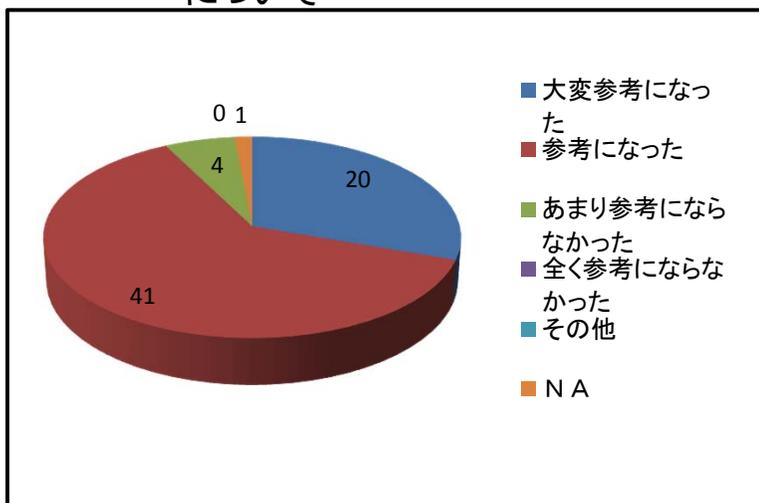


フューチャースクール普及促進セミナー（広島市）

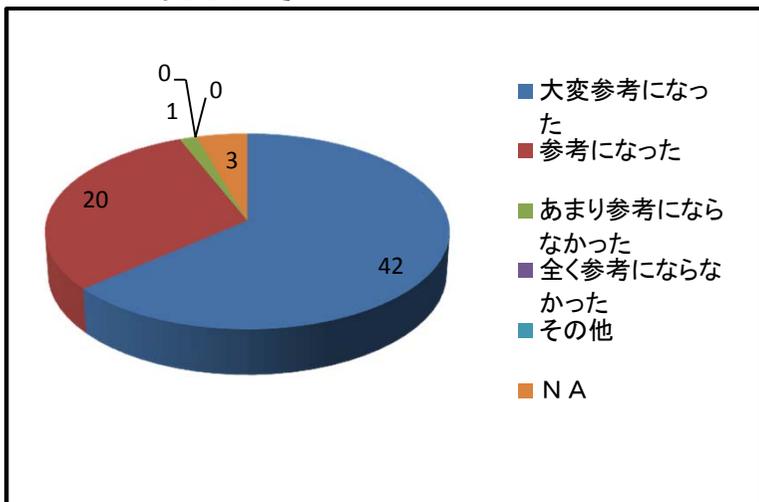
～来場者アンケート取りまとめ～

開催日時	平成25年6月21日（金）
来場者数	126名
アンケート回答数	66件

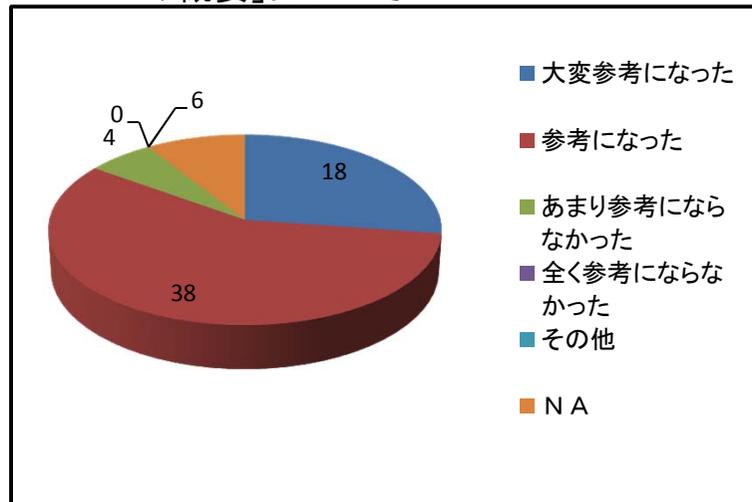
【概要説明】「フューチャースクール推進事業を実施して」【基調講演】「一人一台情報端末と教育」について



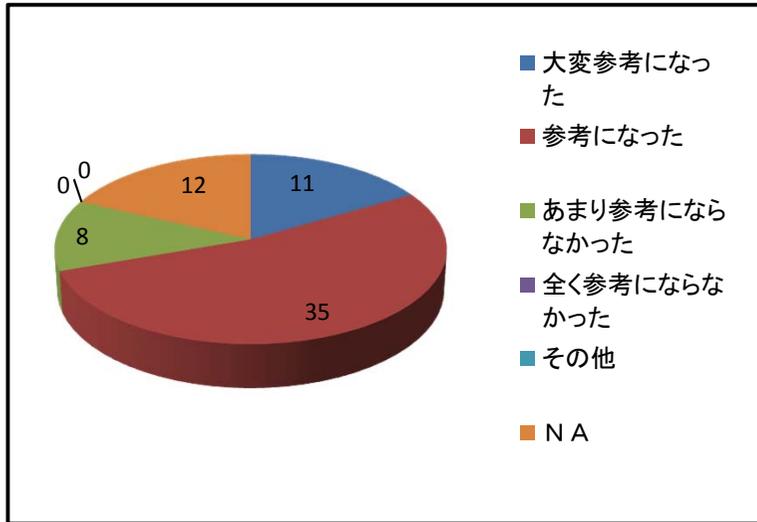
【事例発表】「実証校における取り組み事例等の発表」について



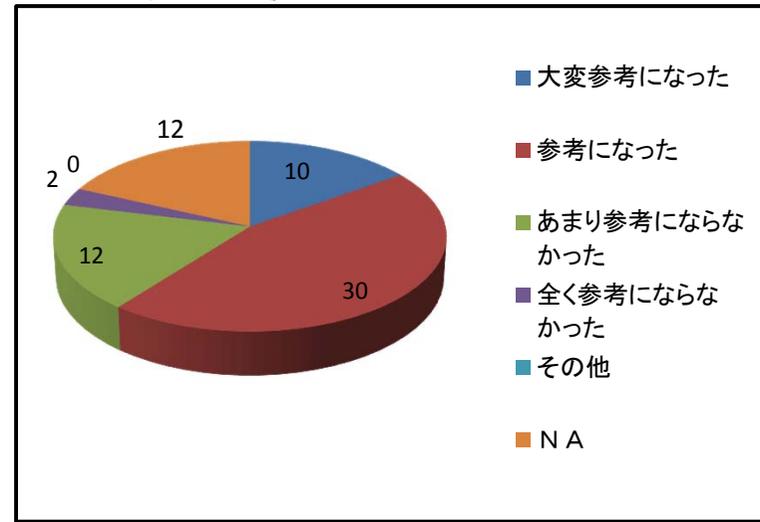
【講演1】「フューチャースクールガイドライン2013の概要」について



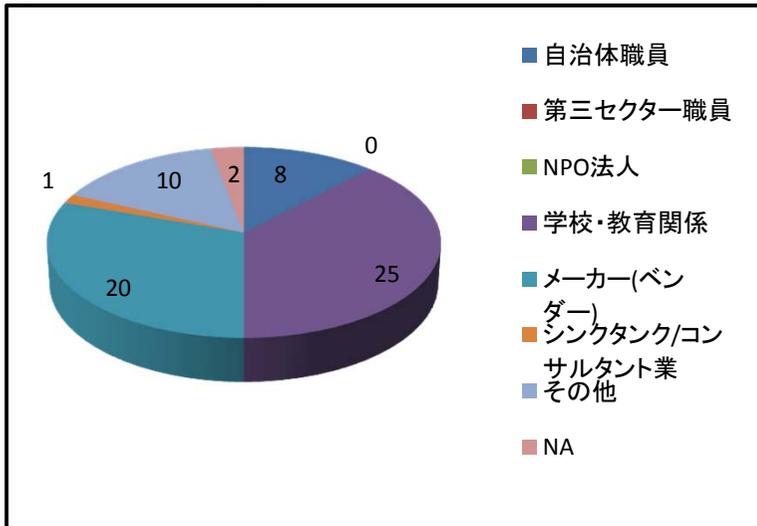
【講演2】「校務情報化に関する取り組み」について



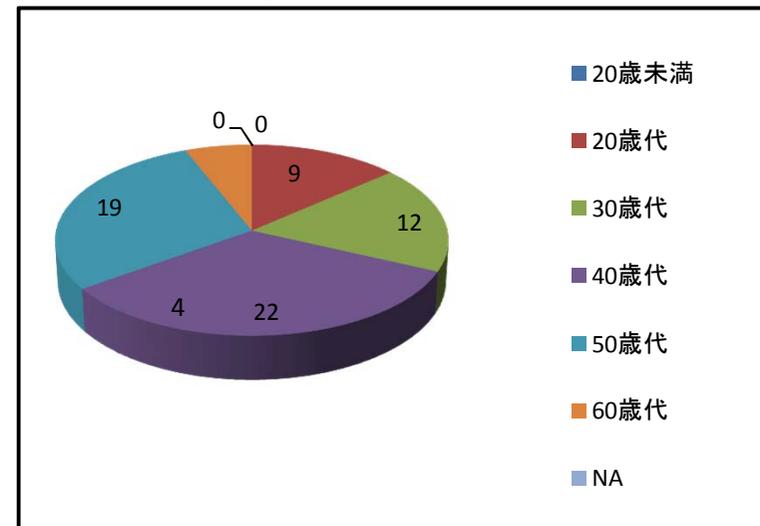
【講演3】「青少年のインターネットリテラシー向上」について



【参加者の所属】



【参加者の年齢】



【概要説明】「フューチャースクール推進事業を実施して」について

- ・ 事業概要が良くわかった。
- ・ 環境整備はこれまでの有線ではなく無線の活用が進んだことで導入が容易になったことは進歩だと感じた。
- ・ 無線LAN環境整備の最適化についての成果が参考になった。無線LAN-AP導入時に役立てたい。
- ・ 100%稼働というのがどの程度なのか(1教室1機)が良く判らなかった。

【基調講演】「一人一台情報端末と教育」について

- ・ 反転授業が行われるようになるとか、ICT支援員の役割が大変必要になるということに興味があった。
- ・ 事例をいろいろ知ることができたが、大きな流れの中でICT利活用の位置付け、メリットを知りたかった。
- ・ 日本は進んでいると思っていたが、後進国である事に驚いた。
- ・ 成績下位層の子ども達の研究で言語性短期記憶の弱さが明らかになったようだが、ICTの導入がその改善にどのように機能するのかをもう少し具体的に知りたかった。
- ・ なぜ一人一台情報端末に向かっているのか、どのように実施するのか理由が分かった。

【事例発表】「実証校における取り組み事例の発表」について

- ・ 実証校5校の特長が出た発表が聞けたため、具体的な取り組みがわかり大変参考になった。
- ・ 各校がオリジナルで異なる取り組みをされており、方針は別々でもICTツールの利活用が有効であることは良く判った。
- ・ 先生側のアイデアで活用方法も変わってくるので平準化はむずかしいのか。
- ・ 各校の取り組みがすばらしく、参考になった。自校にはない発想、基盤づくりは目から鱗でした。
- ・ すぐに実践可能なもの、学校全体で取り組むもの等、様々な実践例を提示して頂いたので、勤務校で周知したい。
- ・ 足代小学校のICT活用例はすごい! そのような使い方が子供達の学びの環境づくりの大きな進展に繋がると思います。
- ・ ICTを使わなくても良い場面にまで使っている感じがする。児童数の少ない足代小学校などは全員に支援できるので良い。
- ・ 支援員の重要性を感じた。
- ・ 実証校故の悩み等も出していただき良かった。

【講演1】「フューチャースクールガイドライン2013の概要」について

- ・ 話の内容がガイドラインに関するものに絞られていたのでわかりやすかった。
- ・ 全市区町村へのICT関係予算の拡充をしていただきたい。(2010年代中までの導入でなく)
- ・ フューチャースクールのPRビデオを見せて頂き良く解りました。これが自由に利用できるようになるといい。
- ・ 狙いが良く理解できた。ガイドラインを良く読もうと思った。

【講演2】「校務情報化に関する取り組み」について

- ・校務の情報化が迫ってくる事が良く分かった。今後、対策・検討を早急に行う必要を感じた。
- ・実現に向けて取り組んでいる内容は、とても効率が良くなるので大歓迎。
- ・少し内容が難しかった。

【講演3】「青少年のインターネットリテラシー向上」について

- ・資料が良く纏まっていると思います。この資料を参考に今後の管理運用に活用していきたい。
- ・現場での指導に活用できると感じた。
- ・いじめに使われる書き込み。特に女子に多い。子供がスマホを使うのと同時にリテラシーを教えないといけない。
- ・フィルタリングは有効である。学校では安心ネットで守られているが、家では無法であるので促進しないといけない。
- ・15分でお聞きするには内容が多すぎて消化しきれなかった。

【問】教育分野でICTを普及促進するためには、何が重要だと思いますか。

- ・教育に関わる人(教員)とICT機器、環境を維持管理する人員又は組織が役割分担すること。そのために必要な予算。
- ・ハード・ソフト面への国からの安定した資金的支援。文部科学省の強いリーダーシップ。
- ・市町の負担を軽減できる国の予算措置(補助・補助裏)。ICT整備の一番の問題は市町の財政負担。
- ・ICT支援員等の人的支援。ICT支援員への国の支援策。
- ・地方自治体、首長、教育委員会の理解。教育委員会、学校、保護者の連携(ICTが必要だという統一した理解)
- ・安定した環境の整備。無線LANの普及。教育クラウドの構築。標準化。一部への導入ではなく、全体への導入。
- ・先生方がICTを活用したくなるメリットが必要。一番は、簡単に楽に実施できること。アイデアを出す環境整備。
- ・教師への研修と意識改革。リテラシー向上。広報活動。
- ・先進的な取り組みや実績のある教育現場(学校)を適切に評価する制度。適切な管理職の配置。
- ・ICT支援員や先生方がもっと話ができる機会が必要だと思います。
- ・デジタル教科書等の普及と事例のDB登録(公開)が必要と考える。
- ・導入機器の使い方についてICT指導員だけでなく、メーカーからの説明などもあれば役立つと思う。
- ・全教科でICTを使うと、児童生徒の眼の疲れはひどい。どの場面で使用するのが有効か検討が必要。

【講演全般】へのコメント

- ・もっと質問時間を取って欲しかった。
- ・詰め込み式のセミナーは聞く方が疲れます。一つ一つのテーマを時間的に充実した配分をお願いします。